

研修会名：脳血管疾患患者の難渋する歩行の診方Ⅰ

～姿勢制御の観点から～

<研修概要>

日 時： 2019年5月25日（土）
時 間： 研修2 14：00～17：00
会 場： アスティとくしまアリーナ1

大会参加費に加えて
予約費用が必要

研修形態	講義+実技		
予約申し込み	必要	予約定員	100人
予約費用	2000円		
無料聴講	あり	聴講定員	200人

講 師： 北山 哲也 氏（山梨リハビリテーション病院）
補助講師： 嶋崎 賢剛 氏（アシストジャパン）
高木 康彰 氏（HITO 病院）
三木伸太郎 氏（山梨リハビリテーション病院）
畑野 真理 氏（山梨リハビリテーション病院）
天羽 君枝 氏（山梨リハビリテーション病院）

<研修内容>

脳血管障害患者の歩行機能改善には、麻痺肢の状態や体幹機能、感覚機能や筋緊張コントロール、高次脳機能など配慮すべき視点が多岐にわたり、難渋するケースが多い印象を受けます。根拠のある理学療法が謳われる昨今だからこそ、治療者が対象者に触れ感じ、いかにオーダーメイドな運動療法をセラピスト自身が身に付け対象者の機能改善に寄与するかは重要な課題であります。

そこで、本研修会においては脳血管疾患患者の難渋する歩行の診方Ⅰとして『姿勢制御の観点から』、実例をご提示頂きながら実際の運動療法を学んで頂きます。

研修会会場ではマット（2名で1枚を使用予定）や椅子等を使用し、講義だけではなく、より臨床的で実践的な内容を多く取り入れた実技中心の研修会となります。参加者の皆様の臨床に直結する課題や疑問を少しでも解決できる場にしたいと考えており、実技参加者には質問用紙を配布しご記入頂いた中から翌日の脳血管疾患患者の歩行の診方Ⅲ『総合討論』にて講師よりご解答頂く予定です。